

平成22年度一般会計補正予算説明資料

6 款 農林水産業費

4 項 林業費

9 目 狩猟費

公園自然課 (内線: 7872)

(単位: 千円)

事業名	補正前	補正	計	財源内訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
(新) ツキノワグマ接近警戒システム整備モデル事業	0	債務負担行為 2,940 4,725	債務負担行為 2,940 4,725				債務負担行為 2,940 4,725	
トータルコスト	0	5,532	5,532	(補正に係る主な業務内容)				
従事する職員数	0.0人	0.1人	0.1人	ツキノワグマ接近警戒システムの開発				
工程表の政策目標(指標)	-							

説明

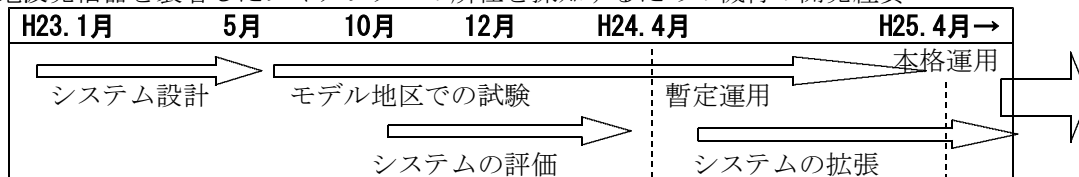
1 事業の目的・概要

ツキノワグマによる住民等の被害の発生防止のため、放獣するツキノワグマに装着した電波発信器からの電波を感知し、その個体の位置を特定して地域住民にその情報を随時提供するシステムを構築する。

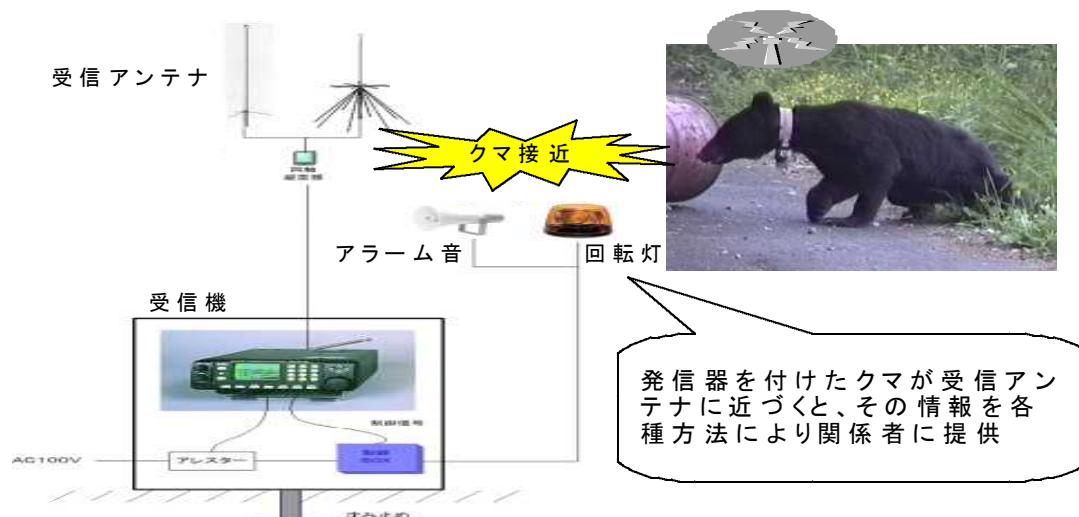
なお、開発に当たっては、中山間地の小規模集落への普及を想定した価格帯になるよう進める。

2 主な事業内容

電波発信器を装着したツキノワグマの所在を探知するための機材の開発経費



【接近警戒システムによる放獣個体の位置把握のイメージ図】



3 これまでの取組状況、改善点

- ① ツキノワグマの追跡は、追跡調査員の手作業で行っているが、その情報は随時把握できるシステムとはなっていない。
- ② 耕作地や集落など人間の活動エリアに侵入した個体を自動的に感知し、その情報を出没地域の方々に随時提供できるシステムを開発することにより、出没地域の方々の安心・安全の確保の向上を図る。